

事項	「つがるロマン」の生育量・葉色値による倒伏軽減剤の利用法																						
ねらい	<p>水稲品種「つがるロマン」は耐倒伏性が不十分なことから、施肥基準や追肥の栄養診断等を策定し指導してきている。しかし、施肥管理の不徹底等から一部のほ場では部分的な倒伏が見られ、食味・品質の低下を招いている事例がある。</p> <p>そこで、このようなほ場における応急的な倒伏防止対策として生育・栄養診断に基づく倒伏軽減剤の利用法について成果が得られたので、参考に供する。</p>																						
指導内容	<p>1 幼穂形成期及び減数分裂期に草丈×茎数×葉色値 (cm・本/m²・SPAD-502) を求め、倒伏程度「微」以下にするため下表により倒伏軽減剤の利用を診断する。</p> <table border="1" data-bbox="411 633 1449 936"> <thead> <tr> <th rowspan="2">診断時期</th> <th colspan="4">草丈×茎数×葉色値</th> </tr> <tr> <th>追肥限界</th> <th>追肥中止で倒伏軽減可能な範囲</th> <th>倒伏軽減剤利用範囲</th> <th>倒伏軽減剤の効果が期待できない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼穂形成期</td> <td>1.4×10⁶未満</td> <td>1.4×10⁶以上～1.5×10⁶未満</td> <td>1.5×10⁶以上～2.1×10⁶未満</td> <td>2.1×10⁶以上</td> </tr> <tr> <td>減数分裂期</td> <td>1.3×10⁶未満</td> <td>—</td> <td>1.3×10⁶以上～1.9×10⁶未満</td> <td>1.9×10⁶以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 診断時期は、倒伏軽減剤の使用時期ではないので注意する。 2 追肥限界の数値1.4×10⁶は、「つがるロマン栽培マニュアル」の幼穂形成期及び減数分裂期に追肥できない生育量 (草丈×m²当茎数：35,000) と葉色値 (SPAD-502：40) を掛けた数値である。</p> <p>2 幼穂形成期の草丈×茎数×葉色値 (cm・本/m²・SPAD-502) が2.1×10⁶以上、減数分裂期で1.9×10⁶以上では倒伏軽減剤の効果が期待できない場合がある。</p> <p>3 倒伏軽減剤の利用により倒伏が軽減・防止されても収量の増加は認められない。</p> <p>4 倒伏軽減剤の利用に当たっては、「農作物病虫害防除等基準」の各薬剤の使用時期、使用量、処理法、使用回数等を遵守する。</p>				診断時期	草丈×茎数×葉色値				追肥限界	追肥中止で倒伏軽減可能な範囲	倒伏軽減剤利用範囲	倒伏軽減剤の効果が期待できない	幼穂形成期	1.4×10 ⁶ 未満	1.4×10 ⁶ 以上～1.5×10 ⁶ 未満	1.5×10 ⁶ 以上～2.1×10 ⁶ 未満	2.1×10 ⁶ 以上	減数分裂期	1.3×10 ⁶ 未満	—	1.3×10 ⁶ 以上～1.9×10 ⁶ 未満	1.9×10 ⁶ 以上
診断時期	草丈×茎数×葉色値																						
	追肥限界	追肥中止で倒伏軽減可能な範囲	倒伏軽減剤利用範囲	倒伏軽減剤の効果が期待できない																			
幼穂形成期	1.4×10 ⁶ 未満	1.4×10 ⁶ 以上～1.5×10 ⁶ 未満	1.5×10 ⁶ 以上～2.1×10 ⁶ 未満	2.1×10 ⁶ 以上																			
減数分裂期	1.3×10 ⁶ 未満	—	1.3×10 ⁶ 以上～1.9×10 ⁶ 未満	1.9×10 ⁶ 以上																			
期待される効果	「つがるロマン」の過剰生育の倒伏防止が可能となり、良食味・高品質米生産に寄与できる。																						
利用上の注意事項	「つがるロマン」の過剰生育による倒伏防止の応急的対応技術として利用する。																						
担当	青森県農業試験場 栽培部	対象地域	「つがるロマン」作付け地域																				
発表文献等	平成9～10年度 青森県農業試験場成績概要集																						

【根拠となった主要な試験結果】

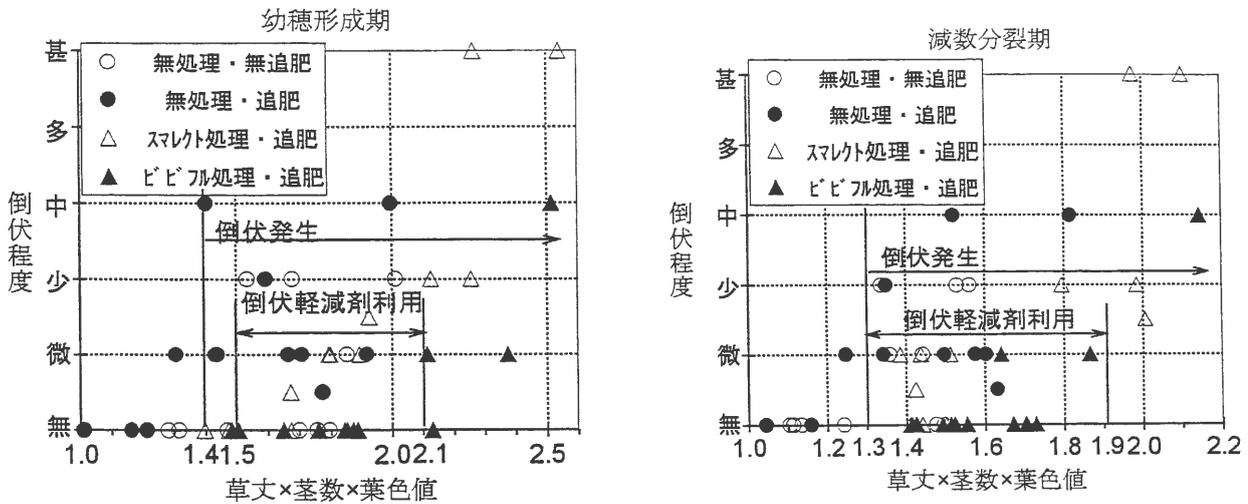


図1 草丈・茎数・葉色値 (cm・本/m²・SPAD-502・×10⁶) と倒伏程度 (H 9、10 青森農試)
 注) 倒伏程度は6段階(無～甚)評価。

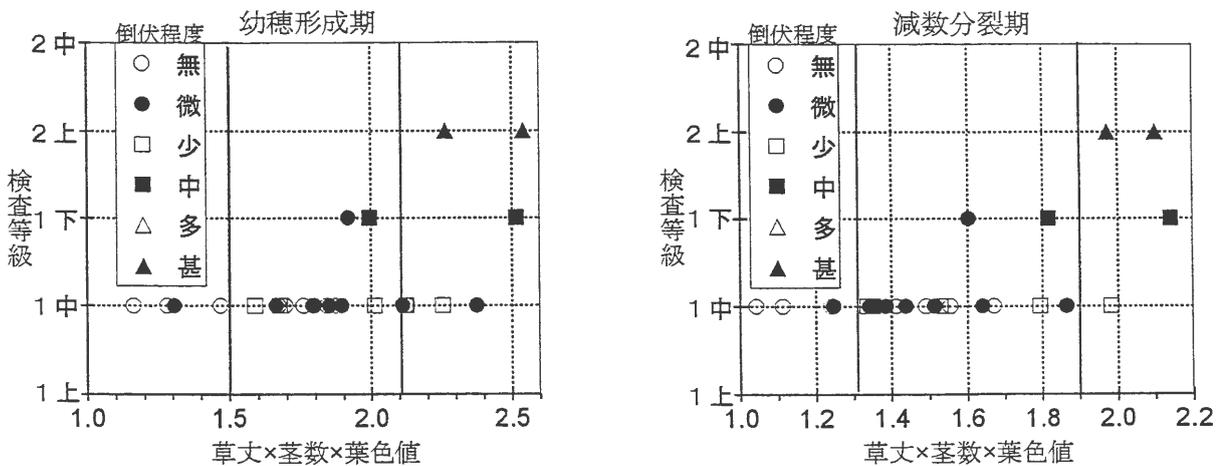


図2 倒伏程度別の草丈×茎数×葉色値(cm・本/m²・SPAD-502・×10⁶)と検査等級 (H 9、10 青森農試)

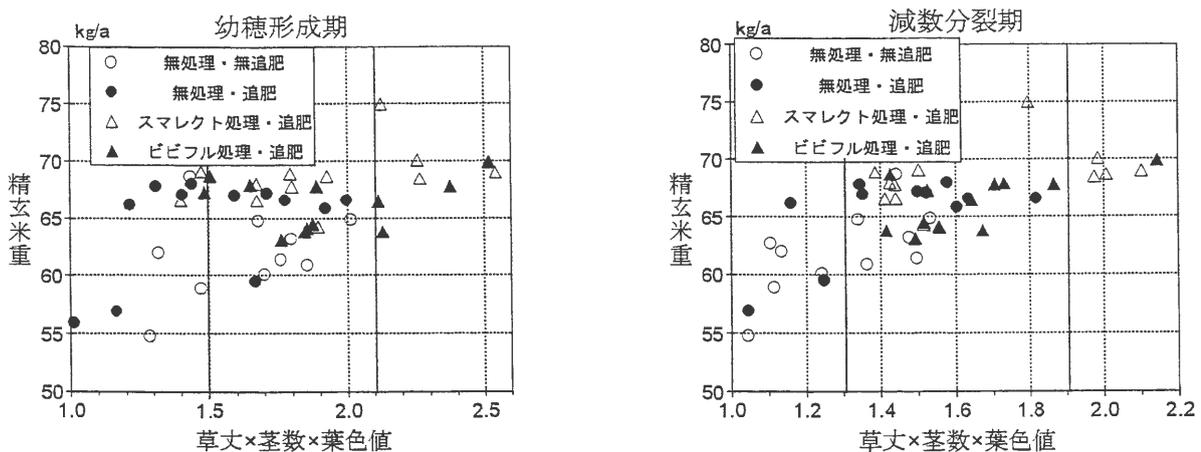


図3 草丈×茎数×葉色値 (cm・本/m²・SPAD-502・×10⁶) と精玄米重 (H 9、10 青森農試)